

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和4年11月12日

③事業者情報

名称：社会福祉法人 大分県福祉会 児童養護施設 森の木	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 有松一郎	定員（利用人数）44名（29名）
所在地：〒870-0862 大分市大字中尾457-1	
TEL：097-549-3508	

④総評

◇評価の高い点

- ・使命、理念にもとずき、児童福祉の動向を踏まえて中長期計画「児童養護施設の高機能化及び多機能化・機能転換等にかかる計画書」を策定している。地域特性に応じ、当施設が捉える児童福祉の変化など踏まえながら、事業内容が具体的に示され、実行可能な年次計画となっており、職員間にも理解されて周知が図られている。
- ・養育支援を支える有能な人材育成を図るために、「法人働き方改革委員会」を立ち上げ、まずは職場の課題等の問題点を協議し、職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりに取り組んでおり、具体的には、職員が心身の健康とモチベーションが向上できるよう、希望休や誕生日休暇等、また、子育てや介護など勤務調整等、職員の希望を受け容れて休暇が取得しやすいよう環境づくりが図られている。
- ・理念として「地域と協働子育ての森の木」が掲げられており、児童が当校区のさまざまな催し等に参加して、地域における社会貢献に尽くしている。
- ・被虐待児、発達特性等の対応が困難な児童が増している中、職員一人ひとりの資質の向上が求められており、職員は森の木「倫理要領」、「職員行動規範」遵守して、児童を尊重した養育支援に取り組んでいる。
- ・「生活のきまり」のしおりの中で一日の生活の流れを記しており、ユニットごとに、児童たちと担当職員が話し合いを通じて、生活全般のルールを決め、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。また、県のモデル事業のアドボケート事業計画を受託した。
- ・自活訓練室を利用して一定期間一人暮らしを体験したり、SSTなどの研修に参加するなどした職業指導員、担当職員が中心となりリービングケアを行っている。また、児童家庭支援センターでは「森の木子育てサロン」事業で、退所後に周囲に相談することが難しく、孤立化していく恐れのある子育て中の親子に離乳食の作り方

や子どもの病気への対応などの仕方などの支援を行っている。

- ・「森の木」職員行動規範においても自立の支援について職員で支援の方向性を統一している。ユニット会議で子どもたちへの言葉のかけ方、言葉の選び方など話し合いながら日々の支援に生かしている。児童一人ひとりが「できたらいいな」の目標を掲げ、小さな頑張りを褒める支援に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

- ・経営状況等の課題について、職員と情報を共有して組織的に取り組むことを期待する。
- ・保護者に児童の里帰り時や親の面会時等に、広報誌を渡す等をして、保護者等の理解が得られるような環境づくりに取り組むことを期待する。
- ・保護者等に相談や意見などが述べられる環境づくりに取り組むことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は、懇切丁寧なご指導をいただき誠にありがとうございました。
また、人材確保に関する情報を提供いただき、大変参考になりました。
今回の評価で改善を求められている項目については、職員全体で共有し、問題意識を持って取り組み、「みんなが安心して暮らせる森の木」の実現に向けて努めていきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）